

since 1920

運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社
東京都荒川区西日暮里3-6-10
佐々木ビル3F 〒116-0013
TEL03-5685-0035
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2
〒541-0048 TEL06-6209-3261
発行人・野田裕之
火・金発行(祝日を除く)
3,600円/月(送料・税込)

2021年

8月3日(火)

第17416号



先端のニーズに応える技術力で

輸送社会の未来を**開く!**

日本トレクス株式会社

改善基準告示見直しを議論

これを機に商習慣変更へ

改善基準告示の見直しを検討する労働政策審議会トラック作業部会は7月29日、拘束時間や休憩時間などの具体的な議論を実施。10月に行う実態調査を踏まえ、再度議論を行うが、「商習慣を変えていかないと労働時間の改善につながらない」とまで話が及ぶ形となった。

トラック作業部会は、昨年度に続き実態調査を行う。調査対象事業場・労働者数を昨年度の2倍に増やすとともに、昨年度調査した事業場に対しては追跡調査を行う。今回の調査対象は、1

| | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 1カ月の拘束時間 | 293時間 |
| 195時間(法定労働時間と休憩時間)+98時間(時間外・休日労働時間) | |
| 1年間の拘束時間 | 3,516時間 |
| 293時間×12カ月 | |
| 休憩期間 | 1日8時間 |
| 拘束時間 | 1日13時間 |
| 8h(法定労働時間)+1h(休憩時間)+4h(時間外労働時間) | |
| 最大拘束時間 | 1日16時間 |
| 運転時間 | 2日平均9時間 2週平均1週44時間 |
| 連続運転時間 | 4時間 |
| 休日労働 | 2週間に1回 |

これに対し、使用者側からは「一般の施行はいづなるのか」から、実態に即した見直しを。2023年4月からの割増率50%(中小企業にも適用)で自ずと時間外

労働時間が減ることを考えれば、そこ(一般則)まで厳しくしなくても良いのではないか」と意見が出された。労働者側は、「過労死を考へる必要があり、若者が入らざるを得ない」と将来を見据えた見直しが必要と反論した。

休息期間は、労働側は11時間を旨とするとしていた。昨年度の調査結果でも「休息期間8時間以下は5時間以下の睡眠になる」とのことから、「睡眠時間を考へると一定程度は必要」と述べた。ただ、長距離運行は「ドライバーストレスは止まらざるを得ない」と述べた。

「基準を厳しくして、荷主に守ってほしい」と言えれば良いが、そうはならない」と発言があり、藤村博之部会長は「これを機会に商習慣を変えることにつながる」といつまでも改善されず人が入って来なくなる」との懸念を示した。

国際が大幅回復 DX戦略投資も 日立物流 日立物流の2022年3月期第1四半期決算は、売上高1780億9600万円(前年同期比6.0%増)、調整後営業利益102億3400万円(同46.6%増)、EBIT95億8000万円(同10.6%減)、当期利益48億2400万円(同23.7%減)の増収減益。

913億円(同1%増)とほぼ前期並みだったが、国際物流は630億円(同63%増)、バンテックグループも218億円(同32%増)と回復をみせている。新型コロナウイルスによる影響は、物量増減などで売上高233億円、営業利益24.7億円。新規受注は国内15億円、国際20億円。戦略投資では物流DX関係で1.8億円。SGHDなどの協創新規は国内7億円、国際3億円(これまで通り進めている)とする。

日通総研短観

景気回復基調鮮明に 2年半ぶりプラスへ浮上

日通総合研究所は、企業物流短期動向調査(日通総研短観6月調査)を発表、国内荷動き指数の4〜6月実績はプラス16と1〜3月より32ポイント上昇、2018年10〜12月実績以来2年半ぶりにプラスへ浮上した。7〜9

底からの反動」と説明。業種別をみると、4〜6月は全15業種のうち精密機械を除く14業種が大幅に上昇、11業種がプラスに転じた。木材・家具△56↓34、輸送用機械△20↓34、パルプ・紙△23↓26と上昇率が高い。7〜9月は生産財卸や消

地域別では全地域で上昇、四国を除きプラスに転じている。7〜9月は北海道、東海、九州・沖縄で低下し、北海道がマイナスに転じる見通し。

輸送機関別では一般トラック△13↓14、特積み△13↓9、宅配便△6↓3、鉄道コンテナ△17↓△1など全輸送機関で大幅に改善、7〜9月見通しでも総じて堅調。

輸出入貨物量は、外資(注文・購買)や書店・出版社の在庫を共有する情報基盤の確立③商流改革・読者の需要に応じたマーケティング型販売体制の確立④販促改革取り組みの第1弾として、これまでDNPが丸善ジュンク堂書店と共同で整備してきた書籍流通センター(SRC)を、新たにトーン川柳SCMセンター内に設置し、トーンの倉庫・物流機能との連携を強化して「①製造・物流改革」を推進する。設置時期は来年夏〜秋の予定。

海コン 釜山港 依然処理に遅れ 北米西岸港 沖待ちが再び増加

国土交通省は、北米西岸港およびアジア主要港(釜山・塩田・シンガポール港)の海上コンテナ輸送の需給ひっ迫状況(7月26日現在)をまとめた。

北米西岸港では6月までにコンテナ船の沖待ちが改善されたが、7月に再び増加傾向を示しているという。

大40隻に達した。その後緩やかに改善し、6月末時点で10隻を下回る日もあったが、7月22日時点で29隻と増加傾向にある。輸送コンテナは、輸入コンテナのターミナル内蔵置日数(ターミナルから搬出されるまでの日数)は、昨年6月は約2.5日だったのが今年1月時点で約5日となり、その後減少に転じたが、5月から再上昇し、6月時点で4.76日となっている。

釜山港新港のヤード(蔵置場)は船積み待ちコンテナが普段は3〜4段積みだったのが今年6月時点で5〜6段の高さになっている。昨年

コンテナは昨年11月から増加し、今年3月は前年同月比1.8%増の10万TEU、その後も前年同月を上回って推移している。輸出コンテナは、昨年6月から増加し、10月時点で同2.7%増の95.7万TEU。その後も前年同月を上回って推移している。

後半から滞積の発生および船腹不足が続いており、蔵置率を維持するため貨物処理が遅れており、輸出荷主が困難を訴えている。

シンガポール港のコンテナ船の寄港状況(1〜6月)は減少傾向にあるが、コンテナ船取扱量は前年を上回る取扱量となっている。コンテナ処理能力(6月時点)は、前年同期に比べ約4%増加し、コロナ禍以前に回復しているという。

4つの改革は①製造・物流改革・製造と物流の連携による適時・適量の配本体制の確立②情報流通改革・読者の需要情報(注文・購買)や書店・出版社の在庫を共有する情報基盤の確立③商流改革・読者の需要に応じたマーケティング型販売体制の確立④販促改革取り組みの第1弾として、これまでDNPが丸

盤の再整備に最優先で取り組むこと、物流の合理化や出版社の返品在庫の廃棄極小化を図る。出版流通関連の各ステップホルダーが全体最適の視点で出版流通改革の実現に向けて協力、4つの改革を実施して出版流通基盤を再構築すること、生活者の購読機会を拡大し、ステークホルダーの収益改善につなげていく。

「①製造・物流改革」を推進する。設置時期は来年夏〜秋の予定。

2022年3月期第1四半期と通期見通し

(上段=第1四半期、下段=通期見通し)

| | 売上高 | | 営業利益 | |
|-----------|-------|--------|--------|--------|
| | 前年同期比 | 前年同期比 | 前年同期比 | 前年同期比 |
| SGHD | 9.4% | 4.4% | 12.1% | 4.4% |
| | 2.5% | 12.1% | 12.1% | 12.1% |
| 日立物流 | 20.9% | 46.6% | 2.1% | 46.6% |
| | 5.8% | 2.1% | 2.1% | 2.1% |
| 山九 | △0.4% | △8.0% | △10.1% | △8.0% |
| | 0.0% | △10.1% | △10.1% | △10.1% |
| 三菱倉庫 | 13.2% | 37.1% | 7.4% | 37.1% |
| | 6.2% | 7.4% | 7.4% | 7.4% |
| ハマキョウレックス | 6.9% | 23.1% | 4.1% | 23.1% |
| | 5.2% | 4.1% | 4.1% | 4.1% |
| アルプス物流 | 29.3% | 190.6% | 1.6% | 190.6% |
| | 4.6% | 1.6% | 1.6% | 1.6% |
| サカイ引越センター | 8.0% | △14.0% | 4.9% | △14.0% |
| | 3.1% | 4.9% | 4.9% | 4.9% |
| 宇徳 | 1.5% | — | 296.2% | — |
| | 2.6% | 296.2% | 296.2% | 296.2% |
| カンダHD | 6.5% | 44.9% | 6.6% | 44.9% |
| | △1.0% | 6.6% | 6.6% | 6.6% |
| ヒガシ21 | 18.1% | 135.1% | 21.4% | 135.1% |
| | 6.4% | 21.4% | 21.4% | 21.4% |

日立物流の営業利益は、調整後営業利益
通期見通しは、SGホールディングスのみ売上高・営業利益を上方修正